外形寸法図

梱　包　例

※梱包時寸法は参考値です。
積み重ねかたによって多少寸法が異なります。

仕　　様

■インチサイズ

品　番	P (mm)	L (mm)	A (mm)	質量 (kg)
ALRA18S	1,829	1,861	600	17.0
ALRA15S	1,524	1,556	448	16.3
ALRA12S	1,219	1,251	295	15.4
ALRA9S	914	946	ー	14.2

■メーターサイズ

品　番	P (mm)	L (mm)	A (mm)	質量 (kg)
ALRAM18S	1,800	1,832	600	16.9
ALRAM15S	1,500	1,532	448	16.2
ALRAM12S	1,200	1,232	295	15.3
ALRAM9S	900	932	ー	14.1

ALINCO アルインコ株式会社 建材事業部

東京支店　〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4(日本橋プラザビル14F)
TEL.03-3278-5870　FAX.03-3278-5875
E-mail : k-tokyo@alinco.co.jp

大阪支店　〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-2-6(新ダイビル8F)
TEL.06-4797-2130　FAX.06-4797-2153
E-mail : k-osaka@alinco.co.jp

名古屋支店　〒460-0008 名古屋市中区栄2-1-1(日土地名古屋ビル15F)
TEL.052-232-2103　FAX.052-203-0226
E-mail : k-nagoya@alinco.co.jp

札幌支店　〒060-0001 札幌市中央区北一条西2-1(札幌時計台ビル7F)
TEL.011-222-8810　FAX.011-222-8820
E-mail : k-sapporo@alinco.co.jp

仙台支店　〒980-0812 仙台市青葉区片平1-5-20(仙台片平丁ビル3F)
TEL.022-221-8210　FAX.022-221-8010
E-mail : k-sendai@alinco.co.jp

広島支店　〒730-0017 広島市中区鉄砲町5-16(広島サンケイビル911号)
TEL.082-222-4566　FAX.082-222-9110
E-mail : k-hiroshima@alinco.co.jp

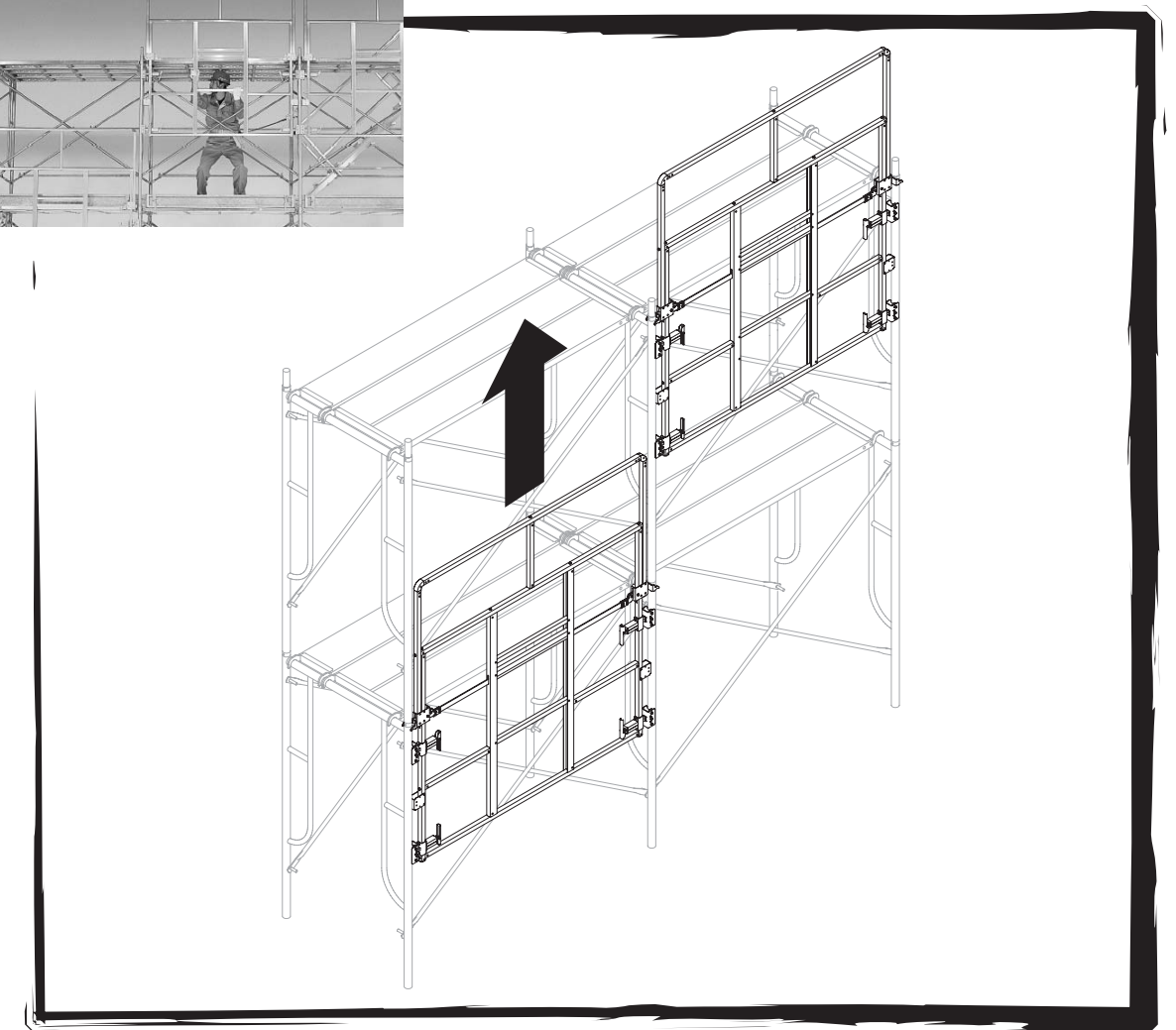
福岡支店　〒811-2502 福岡県粕屋郡久山町山田2268-1
TEL.092-652-3388　FAX.092-652-3389
E-mail : k-fukuoka@alinco.co.jp

松山営業所　TEL.089-987-7030　FAX.089-987-7031

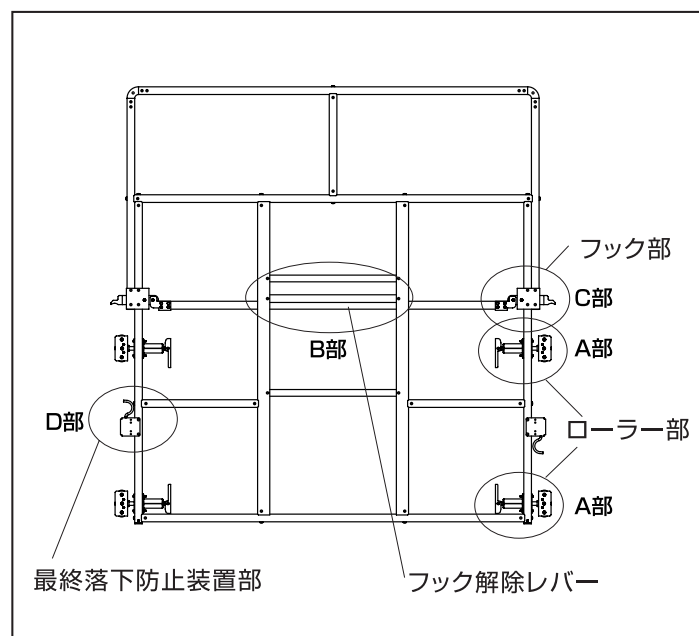
FNENNJNLNNNY-V

ALINCO

先送り型先行手すり枠
スライドガード
ALRAシリーズ

取扱説明書

このたびは、**スライドガード**をご利用いただき誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、本製品の組み立てかた、使用方法、解体のしかた、および注意事項について記載しています。
組み立てる前に、この説明書をよくお読みになってから組み立て下さい。
なお、お読みになった後も、この取扱説明書を大切に保存してください。

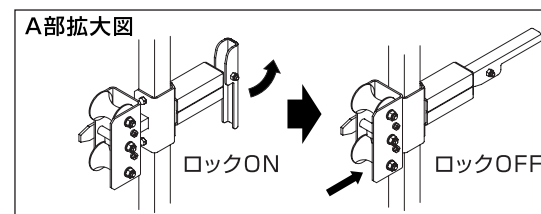
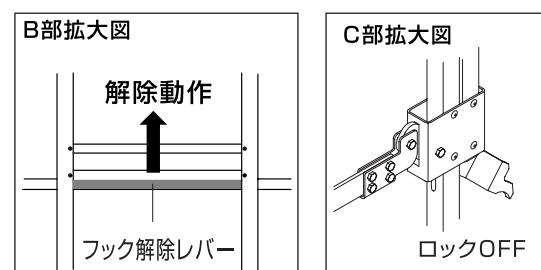
Ver.1.0

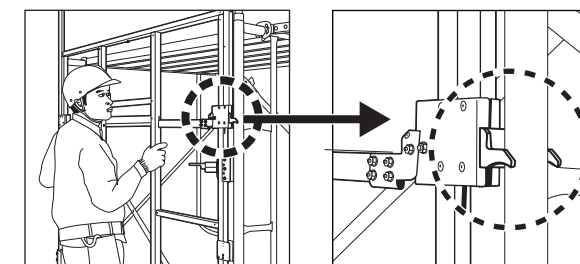
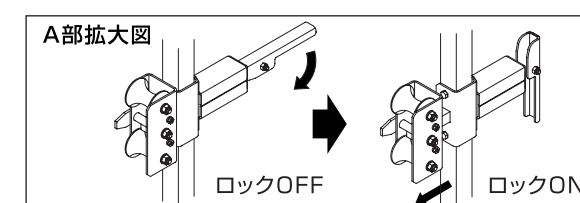
各部の名称

⚠ 注意事項

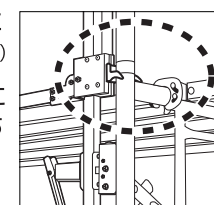
- 使用前には、フックやローラー部などの可動部が正常に作動すること、本体に曲がりや変形がないことを確認して下さい。万一、異常がある場合は、絶対に使わないで、正常なスライドガードをご使用下さい。
- 本体は表裏があります。本体フレームには「内側」の表示がありますので、必ず内側を足場側にして設置して下さい。
- スライドガードを上部に移動する場合は、必ず当該層の交さ筋かいの取り付けを完了した後とし、交さ筋かいが装着されていない状態では絶対に移動しないで下さい。
- スライドガードを上段に持ち上げる時は、フック解除レバー以外の部分を持ってスライドガード本体を押し上げて下さい。フック解除レバーを持って上げると、フックの自動ロックが作動せず、途中で仮置ができないなど、簡単に移動が出来ない場合があります。
- 解体時は、必ずスライドガードがある状態で、当該層の交さ筋かい、および建わくなどを解体して下さい。
- スライドガードを下段に下げる場合の操作は、必ず1段下より行なって下さい。また、機材の故障の原因となりますので、手を離すなどして、一気にスライドガードを降下させないで下さい。
- スライドガードは（社）仮設工業界の枠組足場用手すり枠第2種認定製品です。スライドガードに安全帯を設置して使用することは出来ません。安全帯を使用する場合は、親綱支柱と親綱を併用して下さい。
- アルミ製機材ですので、搬送時等の取扱にはご注意下さい。
- スライドガードの使用においては、足場の組立作業主任者を専任し、労働安全衛生規則を順守して作業を行って下さい。

使用方法／足場施工時

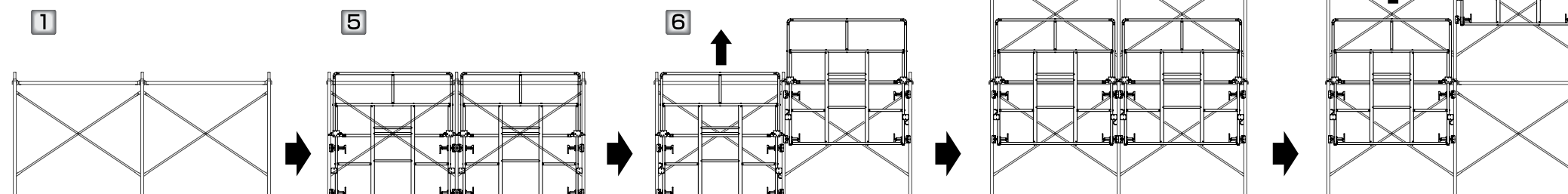
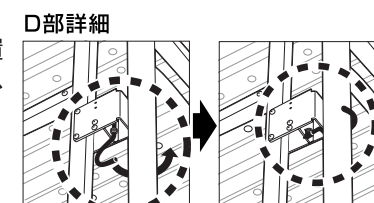
1 枠組足場の1段目を組み立てます。

2 スライドガードのローラー部のレバー（4箇所）を操作し、ロックをOFFにします。

3 フック解除レバーを持ち上げ、左右のフック部のロックを解除して下さい。
（左右のフックが下がった状態）

4 フック部のロックが解除された状態で建わくに設置し、フック解除バーから手を離し、フックのコの字部が建わく脚柱に噛み込んでいることを確認して下さい。

注 本体フレームに「内側」の表示がありますので、必ず内側を足場側にして設置して下さい。

5 ローラー部のレバー（4箇所）を操作し、ロック状態にし、ローラーが脚柱に確実に設置されたことを確認して下さい。この時、スライドガードがスムーズに上下することを確認して下さい。

6 スライドガードのフックが建わく横架材に乗る位置まで押し上げます。（1段目全スパン）

注 スライドガードのフック解除レバーには触れず、それ以外の部分を持ち上げて下さい。

7 上段に上がり、2段目の建わくを設置し、前後構面に交さ筋かい、足場板を取り付け、さらにシンプルレールなどの後付け式二段手すりを設置します。

8 スライドガードを 7 と同じ要領で押し上げます。以後 6～7 の操作を繰り返し、足場の組立に沿って最上段まで盛り上げ替えます。

9 安全性を高めるため、据置状態で使用する場合は、最終落下防止装置を建わく脚柱に設置して下さい。

使用方法／足場解体時

※最上段の作業床に、必ずスライドガードがある状態で作業を行ない、交さ筋かい、および建わくなどの解体をします。

❶ 解体する最上段の建わく撤去の後、下段に下ります。

❷ 最終落下防止装置を解除し、フック解除バーを持ち上げ、左右のフックが下がった事を確認し、スライドガードのフックが下段の横架材に乗るまで下げます。

注 交さ筋かいなどの影響で持ち替えが必要となりますので、建わく補強材などに仮置きしながら移動して下さい。
フック解除レバーから手を離すと、フックが動作する位置に戻りますので、再度移動する時は、一旦、フック解除レバーを持ち本体を上げて下さい。

❸ スライドガードが確実に固定できた事を確認し、上段の足場板を外し、交さ筋かい、建わくなどの解体を行ないます。

❹ さらに下段に移動し、❷～❸の操作を繰り返します。

❺ 足場の解体とともにスライドガードが最下段に移動したら、ローラー部のレバー（4箇所）をOFFにし、フック解除バーを持ち上げてスライドガードを枠組足場から取り外します。